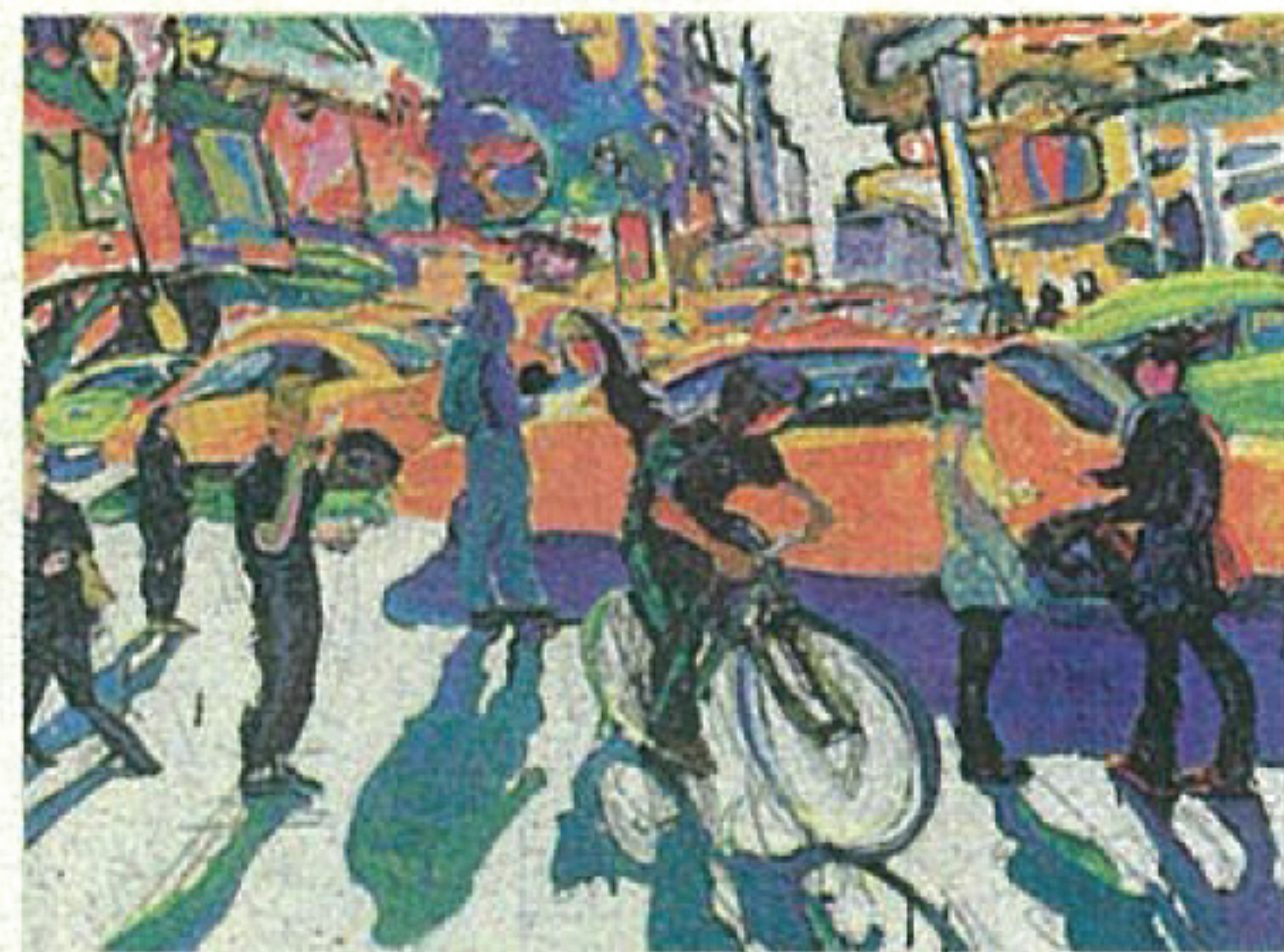


## NYの喧噪 高輝度の色彩で

都会のまぶしい光のなかを行き交う人や車、そして、そびえたつ摩天楼…。大阪市中央区のギャラリーためなが大阪で開かれている「トム・クリストファー展」には、ニューヨークの活気やスピード感が鮮やかな色彩で描かれた作品が並ぶ。

1952年生まれのクリストファーは、81年からニューヨークに住み、大都会の雰囲気を描き始



トム・クリストファー

「Tried to give me a hug. Like icing on an awkward cake」

めた。95年にロックフェラーセンター、98年にはタイムズ・スクエアの壁画を制作。また、2001年の9・11テロ事件の後にワールドトレードセンターを題材として描いた作品も話題を呼び、市立美術館買い上げとなった。

ニューヨークには不自然なほどの高輝度の色彩は、彼が陽光降り注ぐカリフォルニア出身だからなのだろうか。あえて強い色使いやゆがみをもった構図を駆使することで、画家は大都会の喧噪を巧みに表現している。12月3日まで。